

大会要項

- 1.主 旨 公式戦の出場機会に恵まれない子供たちを一人でも多く試合に参加させ、明日への希望を育んでもらう。
また、経験の少ない審判に、より多くの試合を経験してもらう。
- 2.名 称 第65回あすなろ杯少年サッカー大会
- 3.期 間 2013年5月中旬～7月中旬
- 4.会 場 予選リーグ提供グラウンド及び幹事チーム提供グラウンド(決勝トーナメント)他
- 5.参加資格 横浜サッカー協会主催大会に出場しない小学生(春季大会の対象は横浜市少年サッカー大会、秋季大会の対象は横浜国際チビッツサッカー大会とする)。
ただし、所属クラブがL・LLのいずれかのクラスで、上記横浜サッカー協会主催の大会に登録出来ない場合、該当するクラスへの出場はできない。なお、SLの参加については、別途これを定める。クラス区分は次の通りとし少女の参加も認める。SL:小学1・2年生、LL:小学3・4年生、L:小学5・6年生、
【春季大会に於けるSLに関する特例事項】
横浜サッカー協会主催の大会に登録出来ない場合、混合チームでの参加を認める。ただし、春季大会には参加を認めるが秋季大会は認めない。SLの混成チーム(最大3クラブで1チームとする)エントリーは、1クラブにおいて8人に満たないクラブのみとする。
- 6.チーム数: 各クラスで複数チームの登録が出来る。ただし、各クラスで複数チームを出場させる場合はそのクラスでグラウンド提供しなければならない。
- 7.表 彰 各クラス4位までのチームに賞状、各クラス優勝チームに優勝旗、優勝杯他を授与する。
- 8.参加費 1チーム6,000円。決勝トーナメントに進出したチームは、別途1,500円を徴収します。
- 9.競技規則 : 下記事項以外は2011/2012年度(財)日本サッカー協会競技規則による。8人制は横浜市サッカー協会少年委員会規則による。
 - ① 競技時間 SLは20分(10-5-10)、LLは30分(15-5-15)、Lは40分(20-5-20)とする。
 - ② 予選リーグにおいては、勝ちの場合=勝ち点3、引き分けの場合=勝ち点1、負けの場合=勝ち点0とし、勝ち点上位2チームが決勝トーナメントに進出する。勝ち点が等しい場合は、得失点差、総得点、対戦成績、抽選の順で順位を決定する。決勝トーナメントで引き分けの場合は即PK戦とする。ただし、優勝決定戦のみ延長戦10分(5分-5分)を行い、なおも同点の場合はPK方式にて勝者を決定する。
 - ③ ボールは4号球縫いボール(検定球)で行う。
 - ④ エントリーメンバーは、Lは11名以上、LL・SLは8名以上とする。
 - ⑤ 年令をごまかしたり、別のチームに出場したり、試合開始時刻に8人(LL・SLは6名)以上集まらない場合は棄権扱いとし失格とする。なお、棄権のあったチームは対戦した全試合の成績を無効とする。
 - ⑥ 試合中ゴールキーパーと他のフィールドプレイヤーの交代を行う場合、審判の許可を受けた上で各々のユニフォームを交換することによりプレーできる事とする。
 - ⑦ レッドカード・イエローカードの有効性は当該ゲームのみとする。
 - ⑧ 選手交代は自由とする。但しムダに時間を空費するような交代は認めない。(極力ハーフタイム時に交代するようにする。)
 - ⑨ メンバー表及び交代表は使用しない。
 - ⑩ 原則として、1チームの1日の試合数は2試合以内とする。
 - ⑪ 大会期間中(抽選会以降)、複数エントリーしたチームのチーム間の移動は認めない。
 - ⑫ 選手追加は予選開始前の試合前日までに大会幹事に連絡し、大会幹事は会場幹事に連絡する。それ以降の追加は認めない。

10. 審判

- ① 日本サッカー協会審判資格者が行う(必ず審判服を着用のこと)。
- ② 審判の割当は会場幹事の決めた通りとし、また試合前には主審・副審の打ち合わせを必ず行う事とする。
- ③ 審判の判定に対する抗議は試合中には一切認められない。疑義が有る場合は試合後、予選はグラウンド提供幹事、決勝トーナメントは本部に申し出て、裁定に従う事。
- ④ あすなろ大会は「試合経験の少ない審判の主審経験の場」であるため、反則行為の見落とし、ルールの取り違い等があった場合は副審及び第4の審判から主審に対し適切なアドバイスをを行うことが出来る。(次プレーの開始前に判定の修正が出来る)
- ⑤ 決勝トーナメントに於いては極力、経験豊富な審判にて行うように努めること。